

社員の声

ケアマネージャー

飛岡 優太

2024年1月入社 杉並配属



私は弊社で初めてケアマネージャーとして働いています。元々回復期病院や訪問リハビリ、有料老人ホームで理学療法士として経験を積んできました。弊社では訪問看護も運営しており、様々な疾患をお持ちの方の支援はもちろんですが、特に神経難病の方の支援にも力を入れています。そのためケアマネージャーも医療知識を深めることや、予後予測をしっかり見据えて支援をしていく必要があります。

弊社では、定期的に医療知識を深めるためのブラッシュアップ研修や神経難病の方に対する独自のサポートシステムも導入しており、多職種の方と密に連携し研鑽できる環境が整っているため、質の高いケアマネジメントができるようになると考えています。

ケアマネジャー1年目で最初は不安でしたが、入社後先輩ケアマネジャーの事業所で直接指導を頂ける機会があります。現在は配属先で勤務していますが、分からないことやご利用者様の支援で悩んでいる時は、ご相談できる心強い先輩方が多くいます！専門性の高いケアマネジャーとして成長できる環境が整っていますので、ぜひ一緒に働いてみませんか？

(2年目の現場より)

前職は営業職、祖父母も遠方で暮らしている為、介護未経験でした。そんな私が何故在宅介護を選んだのかと言うと、『私自身が在宅で最期を迎えたいと思ったから！』です。

どのようにして最期を迎えるのか、どのようにしたらより良い最期を迎えることができるのか、知識と教養を身に付ける為、ホームヘルパーとして働くことを決意しました。しかし、保守的な私にはいきなり異業種へ転職することに不安があり、まず初任者研修と実務者研修の資格を取得しました。また、弊社では会社見学を実施しており、入社前、実際にご利用者様のお宅を訪問し、サービスの様子を見学することが出来ます。1日の仕事の流れがイメージ出来たことで、私の想像と現実のギャップを埋める事が出来ました。入社後も上司や先輩方のサポートのお陰でスムーズに仕事に慣れることが出来ました。

今までで一番嬉しかった事は、久しぶりに再会した祖母に足浴をしたことです。経験を実践する事が出来、喜んでもらったことが私にとって大きな財産となっています。

(3年目の現場より)

ヘルパー

野田 春菜

2022年4月入社 奥沢配属



弊社で初の言語聴覚士主任に就任して5年が経ちます。言語聴覚士としての訪問業務の他に事務所のマネジメントや他社との交流、地域への参加など様々な経験を積むことが出来ています。言語聴覚士として、そして人としても成長できている、これからも成長できると感じています。また、新しい挑戦に対して会社からポジティブにサポートしていただける体制にも感謝しています。

「食」を想像してみましよう。見た目、香り、味覚、食感、のど越し。様々な感覚が重なり食べる楽しみとなります。そのような「食」を在宅で支える。ご利用者様にとっての楽しみを支えることができるのが言語聴覚士の役割でもあると思います。まだまだ地域に少ない言語聴覚士ですが在宅でこそ必要と経験を重ねることのできる思いが強くなっています。

弊社が推進するSSPD(Support Systems for Parkinson's Disease)においても、言語聴覚士の役割はとても重要なものです。早期からの介入で「食」を支え、楽しみの継続と誤嚥性肺炎の予防を進め生活を豊かにできるようにしていきたいと思えます。言語聴覚士の皆さん！あなたのお力を弊社にて高め、地域に貢献していきたいませんか？

(9年目の現場より)

言語聴覚士

田村 尚史

2016年8月入社 烏山配属
烏山訪問看護 主任

